

2024年9月10日
公益社団法人日本広告審査機構

JARO が N 中等部と N 高等学校・S 高等学校（N/S 高）と共同で 課題解決型プロジェクト学習（PBL）で 「広告苦情、動画にしてみた」コンテストを実施

公益社団法人日本広告審査機構（JARO）は、学校法人角川ドワンゴ学園（本部所在地 沖縄県うるま市、理事長 山中伸一）の「N 中等部」および「N 高等学校・S 高等学校」（以下、N/S 高）において、JARO の消費者啓発の教材を活用した講演を、8月27日・9月3日（N 中等部）、10月3日（N/S 高）に実施することをお知らせします。

本講演は、中・高校生が社会に出て活躍するための知識やスキルを身に付ける課題解決型プロジェクト学習（PBL=Project Based Learning）を行う同学園のプログラム「プロジェクト N」にて実施され、JARO から問題のある広告事例を提示後、動画制作学習、および「嘘・大げさ・まぎらわしい」広告に対して注意喚起を促す動画の制作を行うものです。

本取り組みは、広告コミュニケーション等に関する講義を、株式会社博報堂 UNIVERSITY of CREATIVITY(UoC)の須田和博氏が行い、また、株式会社 Hakuodo DY ONE のリアル Z 世代によるクリエイティブチーム「ハローZ」の皆さまに動画制作のノウハウなど直接のご協力を頂いて、実施します。



◇学校法人角川ドワンゴ学園

「N 中等部」について <https://n-jr.jp/>

「N 高等学校・S 高等学校」について <https://nnn.ed.jp/>

「プロジェクト N」について <https://nnn.ed.jp/course/commute/curriculum/pbl/project/>

※N 中等部は学校教育法第一条に定められた中学校ではありません。ご自身の中学校に在籍したまま N 中等部で学んでいただきます。

◇株式会社博報堂 UNIVERSITY of CREATIVITY(UoC) <https://uoc.world/>

◇株式会社博報堂 DY One 「ハローZ」

https://www.dac.co.jp/index.php?p=press/2023/20230510_helloz

「広告苦情、動画にしてみた」コンテストを実施

本取り組みで制作された動画は、プロジェクトNの授業実施期間後にコンテスト形式で審査・選考され、入賞作品に関しては、JARO 公式 SNS (TikTok、YouTube) で実施中の「広告苦情、動画にしてみた」の一環として、生徒作品の掲載を予定しています。

◇参考)「広告苦情、動画にしてみた」とは？

JAROを若い世代にもっと知ってもらおうと、Z世代の若者から寄せられた苦情を動画にしてTikTokで毎週投稿しています。この取り組みは、今年4月に開始した「JARO 50th プロジェクト」5つの施策の第2弾で、広告に対する意見や苦情をJAROに伝えていく“苦情の次世代化”を見据えたものとなっています。

参考：JAROは今年創立50周年これを機に「JARO 50th プロジェクト」を4月から開始
<https://www.jaro.or.jp/news/vc5lqp00000003tb-att/20240412release.pdf>

お問い合わせ：広報担当 松本、今泉

メール：kouhou@jaro.or.jp 電話：03-3541-2813

《組織概要》

名称 公益社団法人日本広告審査機構

(英文名 Japan Advertising Review Organization、JARO)

住所 《事務局》 東京都中央区銀座2-16-7 銀座2丁目松竹ビル ANNEX

《関西事務所》 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館

理事長 西澤 豊 (時事通信社顧問)

会員社数 881社 (2024年7月現在)

設立 社団法人許可 1974年10月15日、公益社団法人認定 2011年4月1日